

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	機能解剖生理学(運動学を含む)				担当教員名	北原 奈那			
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合病院の鍼灸部門にて研修生・レディースクリニックにて勤務・</li> <li>・鍼灸院リンパ浮腫治療室を開業</li> <li>・都内の腫瘍内科にて非常勤鍼灸師・鍼灸専門学校の専任教員として勤務</li> <li>・非常勤講師・大学病院のリハビリテーション部の研修を活かしてリハビリに必要な知識を深める授業を行う。</li> </ul>										
年次	2学年	開講期	前期	種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	<p>リハビリテーション医学の理念・目的・分野等を理解する。</p> <p>人体の関節や筋の構造、機能学、運動学を学び、日常動作の協調運動がどのように行われているかを理解する。</p>										
到達目標	<p>リハビリテーション医学の基礎を理解する。</p> <p>また、運動学の分野では人体の関節や筋の構造、機能学、運動を学び、日常動作の協調運動がどのように行われているかを理解し、鍼灸施術や機能回復に応用できる知識を修得する。</p>										
使用教材	「リハビリテーション医学（東洋療法学校協会教科書）」						評価方法		筆記試験		
授業内容											
1	オリエンテーション リハビリテーション医学の理念・目的・歴史・生活機能分類					9	物理療法				
2	リハビリテーションの分野・リハビリテーション医療					10	作業療法				
3	リハビリテーション医療チーム・地域リハビリテーション・介護保険・地域包括ケアシステム					11	言語聴覚療法				
4	運動学 バイオメカニクス・機能解剖学・運動発達					12	補装具				
5	運動学 姿勢制御・歩行・運動学習					13	リハビリテーション医療と鍼灸マッサージ師との連携・役割について				
6	リハビリテーション診断の流れ・検査・測定					14	1章まとめ				
7	検査・測定 ADL評価・高次脳機能障害・摂食嚥下等					15	試験対策				
8	運動療法										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	リハビリテーション医学	担当教員名	北原 奈那						
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合病院の鍼灸部門にて7年研修生(はり師きゅう師マ師)・レディースクリニックにて2年勤務(はり師きゅう師マ師)</li> <li>・現在は鍼灸院リンパ浮腫治療室を開業(はり師きゅう師マ師)と腫瘍内科にて緩和ケア等に従事する。</li> <li>・病院研修、勤務経験を活かし医療連携に必要な知識を理解する授業を行う。</li> </ul>										
年次	2学年	開講期	後期	種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	リハビリテーションの概念や各疾患のリハビリテーションを理解する。鍼灸施術や機能回復に応用できる知識を習得する。										
到達目標	地域リハビリテーションの一役を担うにあたり不足のない心構え、及び知識の習得を目指す。										
使用教材	「リハビリテーション医学 第4版(東洋療法学校協会教科書)」 医歯薬出版						評価方法		筆記試験		
授業内容											
1	整形外科疾患のリハビリテーション 上肢					9	ポリオ・虚血性心疾患のリハビリテーション				
2	整形外科疾患のリハビリテーション 下肢					10	呼吸器疾患のリハビリテーション				
3	整形外科疾患のリハビリテーション 脊椎					11	糖尿病・腎尿路疾患のリハビリテーション				
4	整形外科のリハビリテーション 切断・関節リウマチ					12	がんのリハビリテーション				
5	脳血管障害のリハビリテーション					13	高齢者のリハビリテーション				
6	脳血管障害のリハビリテーション					14	小児のリハビリテーション				
7	パーキンソン病・脊髄小脳変性症・多系統萎縮症のリハビリテーション					15	まとめ				
8	筋萎縮性側索硬化症・末梢神経障害のリハビリテーション										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	病理学概論（前期）			担当教員名	北原 奈那				
実務経験等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合病院の鍼灸部門にて7年研修生(はり師きゅう師マ師)・レディースクリニックにて2年勤務(はり師きゅう師マ師)</li> <li>・現在は鍼灸院リンパ浮腫治療室を開業(はり師きゅう師マ師)と腫瘍内科にて緩和ケア等に従事する。</li> <li>・病院研修、勤務経験を活かし医療連携に必要な知識を理解する授業を行う。</li> </ul>									
年次	2学年	開講期	前期	種別	講義	時間数	30時間	単位数		区分	必修
授業概要		<p>疾病とは正常な体の構造や機能に何らかの異常が生じた結果さまざまな症状などが認められる状態である。正常な体の構造については解剖学、機能については生理学で学習するが、病理学概論ではそれらに起こる「異常」について理解することを目的とする授業である。</p>									
到達目標		<p>「病因（内因・外因）」「循環障害」「退行性病変」「進行性病変」について学習する。          そしてそれらが疾病が病理学の観点からどのように発症しているかを考える。          最終的には疾病について学習する「臨床医学各論」や「リハビリテーション医療」と結び付け病態を理解できることを目標としたい。</p>									
使用教材		病理学概論（東洋療法学校協会）					評価方法			筆記試験	
授業内容											
1	病理学とは？ 疾病の考え方					9	循環障害 血栓症・塞栓症				
2	病因の一般 内因 素因と体質・遺伝					10	循環障害 梗塞・水腫・浮腫・脱水症				
3	内因 内分泌 免疫					11	退行性病変 萎縮・変性				
4	外因 栄養の不足と過剰					12	退行性病変 変性				
5	外因 物理的要因・化学的要因					13	加齢と老化 生活習慣病				
6	外因 生物学的要因					14	退行性病変 壊死と死				
7	循環障害 循環の基礎・充血・うっ血					15	まとめ				
8	循環障害 貧血・虚血・出血										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	病理学概論（後期）			担当教員名	北原 奈那				
実務経験等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合病院の鍼灸部門にて7年研修生(はり師きゅう師マ師)・レディースクリニックにて2年勤務(はり師きゅう師マ師)</li> <li>・現在は鍼灸院リンパ浮腫治療室を開業(はり師きゅう師マ師)と腫瘍内科にて緩和ケア等に従事する。</li> <li>・病院研修、勤務経験を活かし医療連携に必要な知識を理解する授業を行う。</li> </ul>									
年次	2学年	開講期	後期	種別	講義	時間数	30時間	単位数		区分	必修
授業概要		<p>疾病とは正常な体の構造や機能に何らかの異常が生じた結果さまざまな症状などが認められる状態である。正常な体の構造については解剖学、機能については生理学で学習するが、病理学概論ではそれらに起こる「異常」について理解することを目的とする授業である。</p>									
到達目標		<p>「進行性病変」「炎症」「腫瘍」「免疫異常」「先天性異常」について学習する。 そしてそれらが疾病が病理学の観点からどのように発症しているかを考える。 最終的には疾病について学習する「臨床医学各論」や「リハビリテーション医療」と結び付け病態を理解できることを目標としたい。</p>									
使用教材		病理学概論（東洋療法学校協会）					評価方法			筆記試験	
授業内容											
1	進行性病因 肥大と増殖 再生 化生					9	免疫異常とアレルギー 液性免疫と細胞性免疫 アレルギー				
2	進行性病変 移植 創傷治癒					10	免疫異常とアレルギー アレルギー・免疫不全				
4	炎症 炎症の一般					11	免疫異常とアレルギー 自己免疫疾患				
5	炎症の分類					12	先天性異常 代謝異常				
6	炎症の分類 特異性炎					13	先天性異常 奇形				
7	腫瘍 腫瘍の一般 腫瘍の分類					14	先天性疾患 遺伝子疾患 染色体異常				
7	腫瘍 諸段階 発生原因					15	まとめ				
8	腫瘍 良性腫瘍と悪性腫瘍										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	臨床医学各論Ⅰ（前期-1）				担当教員名	吉田 和市			
実務経験等	臨床全身麻酔や鎮静法、救急蘇生の実践、循環薬理学の基礎研究の経験を活かし、基本的な患者さんの診察法を内科学に焦点を当て、講義する。具体的な目標は、呼吸、循環、代謝、麻酔を中心に生体管理学の基礎を理解させることである。また、また、日本蘇生学会蘇生法指導医としての実績を背景に、施術中の合併症や医療事故とその救急処置についても理解を深めるようにしたい。										
年次	2学年	開講期	前期	種別	講義	時間数	30時間	単位数		区分	必修
授業概要	臨床医学における基本管理となる循環器疾患、代謝性疾患を中心に基本的事項から国家試験に対応できる能力を身につける。 講義の最後の20分くらいを国家試験形式の問題の演習と解説に当てる予定である。										
到達目標	循環器疾患と代謝性疾患に関して、国家試験に合格できる程度の能力を養うことを目標とする。										
使用教材	臨床医学各論 医歯薬出版株式会社						評価方法		筆記試験		
授業内容											
1	循環器疾患の総論 循環器疾患全般の解剖と機能に関して概説する。					9	糖尿病 糖代謝を理解させた後、糖尿病とその合併症について講義する。				
2	心疾患Ⅰ 心不全、心臓弁膜疾患を理解させる。					10	脂質代謝異常 脂質異常の臨床評価、特にL/H比を学ぶ。 動脈硬化についての基礎から臨床までを理解する。				
3	心疾患Ⅱ 弁膜関する解剖と機能を理解して上で弁膜疾患の病態を講義する。					11	高尿酸結症 高尿酸結症と痛風の関係				
4	不整脈 心電図の解説と不整脈の種類					12	ビタミン 各種ビタミン欠乏症と過剰症に関して概説する。				
5	不整脈の臨床 特に心房細動の臨床について解説する。					13	冠動脈疾患の危険因子 動脈硬化を引き起こす因子やNOの役割を理解させる。				
6	冠動脈疾患 狭心症と心筋梗塞の病態と違い					14	前期講義のまとめと関連過去問の演習と解説 過去の重要国試問題に焦点を当て理解を深める。				
7	動脈疾患と血圧の異常 大動脈瘤と大動脈解離の解説と血圧変動の考え方を学ぶ。					15	期末試験の対策講義と質疑応答 重要項目を再確認するための演習と解説を行う。				
8	内分泌 種々の内分泌疾患を説明する。										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	臨床医学各論Ⅰ (前期-2)			担当教員名	木村 桃子				
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師、鍼灸師として、株式会社麴町治療院で（帝国ホテル、ホテルオークラなど都内の一流ホテル派遣）にてアロマオイルマッサージをメインに施術。あん摩マッサージ指圧師、鍼灸師として八丁堀治療院にて臨床を行う。現在、自身のviaggiokamakuraにて臨床をおこなう。										
年次	2学年	開講期	前期	種別	講義	時間数	30時間	単位数		区分	必修
授業概要	各疾患についての概念と症状を理解する。										
到達目標	第8章運動器疾患についての概念と症状を理解し、疾患についての概念と症状を理解する。										
使用教材	「臨床医学各論」 医歯薬出版配布プリント						評価方法		筆記試験		
授業内容											
1	総論・五十肩					9	頸部変形性脊椎症				
2	変形性関節症					10	腰痛症				
3	変形性足関節症					11	脊髄損傷				
4	骨代謝性疾患・骨腫瘍・骨粗鬆症					12	外傷				
5	転移性骨腫瘍					13	野球肩				
6	筋・腱疾患					14	その他				
7	形態異常					15	その他の絞扼神経障害				
8	脊髄疾患										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	臨床医学各論Ⅰ (後期-1)				担当教員名	吉田 和市			
実務経験等	臨床全身麻酔や鎮静法、救急蘇生の実践、循環薬理学の基礎研究の経験を活かし、基本的な患者さんの診察法を内科学に焦点を当て、講義する。具体的な目標は、呼吸、循環、代謝、麻酔を中心に生体管理学の基礎を理解させることである。また、また、日本蘇生学会蘇生法指導医としての実績を背景に、施術中の合併症や医療事故とその救急処置についても理解を深めるようにしたい。										
年次	2学年	開講期	後期	種別	講義	時間数	30時間	単位数		区分	必修
授業概要	呼吸器疾患、腎尿路疾患、一般外科、麻酔に関する講義を行い、基本事項から国試に対応可能な知識を養う。講義はPowerPointと逐次板書を行う。 また、授業中に問題演習とその解説を行い実践に備える。										
到達目標	呼吸器疾患、腎尿路疾患と前期に講義した循環器疾患や代謝性疾患との関連を理解し、総合的な患者の生体管理法を理解する。 さらに、全身管理学の応用として、麻酔科学、救急蘇生学、一般外科学を学ぶ。										
使用教材	臨床医学各論						評価方法		筆記試験		
授業内容											
1	呼吸器疾患総論 呼吸器疾患の分類を概説する。					9	腎尿路の腫瘍、結石 腎細胞癌、膀胱癌、腎尿路結石について理解を深める。				
2	感染性呼吸器疾患 上気道炎、急性気管支炎、肺炎、肺結核について学ぶ。					10	前立腺疾患 前立腺炎、前立腺癌に関して病態と検査法、治療法を説明する。				
3	間質性肺炎肺炎、う肺線維症 間質性肺炎の原因と病態を学ぶ。感染性肺炎との相違を理解させる。					11	膠原病 膠原病の種類とその病態				
4	閉塞性呼吸器疾患 肺気腫、慢性気管支炎、気管支喘息について解説する。					12	一般外科の総論 熱傷、凍傷、ショック、救急処置、心肺蘇生法を理解させる。				
5	拘束性呼吸器疾患とそのほかの呼吸器疾患 肺線維症、気胸、肺癌、気管支拡張症					13	麻酔科学 全身麻酔法に関してその歴史を展望し現在の臨床麻酔の考え方を説明する。				
6	腎尿路疾患総論 腎臓の機能と疾患					14	局所麻酔法と神経ブロックの実際 各種局所麻酔、脊髄クモ膜下麻酔、硬膜外麻酔、星状神経節ブロック、三叉神経ブロック、腕神経叢ブロックなどの実際を目で理解させる。				
7	原発性糸球体腎炎、腎不全 各種腎疾患の病態と治療法を学ぶ。					15	後期講義のまとめ 過去の国試問題による後期期末試験対策と国試対策				
8	尿路感染症 腎盂腎炎、膀胱炎、尿道炎、前立腺炎について説明する。										
特記事項	前期講義の内容を忘れないように後期試験には前期試験の範囲から10%程度出題する。										

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	臨床医学各論Ⅰ (後期-2)			担当教員名	北原 奈那				
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都内の腫瘍内科にて非常勤鍼灸師</li> <li>・鍼灸師として臨床に当たった経験から、知っておくべき神経疾患の知識を授業する。</li> <li>・臨床経験より必要な鍼灸の歴史、意義、施術に当たっての知識を講義、実技を行う。</li> </ul>										
年次	2学年	開講期	後期	種別	講義	時間数	30時間	単位数		区分	必修
授業概要	疾患についての概念と症状を理解する。										
到達目標	第11章『神経疾患』に含まれる各科の代表的な疾患について学習し、鑑別診断に応用する能力の礎を養う。										
使用教材	「臨床医学各論」 医歯薬出版 5500円						評価方法		筆記試験		
授業内容											
1	神経の症状					9	変性疾患				
2	脳血管障害					10	認知症				
3	脳梗塞					11	筋疾患				
4	脳出血					12	運動ニューロン疾患				
5	感染性疾患					13	末梢神経疾患				
6	脳腫瘍					14	末梢神経疾患				
7	脊髄腫瘍					15	まとめ				
8	変性疾患										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	臨床医学各論Ⅰ (後期-3)			担当教員名	野頭 智一				
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師 訪問施術 (2007年4月～) 鍼灸マッサージ非常勤講師 (2009年4月～)										
年次	2学年	開講期	後期	種別	講義	時間数	30時間	単位数		区分	必修
授業概要	疾患についての概念と症状を理解する。										
到達目標	第1章感染症、第2章消化器疾患、第3章肝胆膵疾患についての概念と症状を理解し、疾患の鑑別に応用できるよう学習する。										
使用教材	「臨床医学各論」 医歯薬出版						評価方法		筆記試験		
授業内容											
1	細菌感染症					9	腫瘍性疾患1				
2	ウイルス感染症					10	腫瘍性疾患2、腹膜疾患				
3	性感染症					11	総論、肝臓疾患1				
4	細菌性食中毒					12	肝臓疾患2				
5	総論、口腔疾患					13	胆嚢疾患				
6	食道疾患、胃・十二指腸疾患					14	膵臓疾患1				
7	腸疾患1					15	膵臓疾患2				
8	腸疾患2										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	東洋医学概論Ⅱ			担当教員名	上野 悠香				
実務経験等	はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師免許取得後、5年以上にわたり中医学研究所の研修生として中医学を学ぶ。現在は教職の傍ら、鍼灸院および往診にて臨床に携わる。										
年次	2学年	開講期	前期	種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	あはき臨床を実践するにあたり必須となる東洋医学的考え方の基礎を学ぶ。										
到達目標	東洋医学の基礎（特に、治療法、診察法について）を理解して記憶する。 東洋医学的な臨床を行う上で必須となる基礎固めを行う。										
使用教材	「新版 東洋医学概論」医道の日本社、配布資料						評価方法		筆記試験		
授業内容											
1	気血津液精陰陽、病因の復習					9	四診について、望診（舌診ほか）、聞診				
2	臓腑の復習					10	問診（十問診を中心に）				
3	弁証法の復習					11	切診（脈診、腹診ほか）				
4	論治①（治法）					12	四診から弁証論治まで①				
5	論治②（治療穴の決定：難経69、要穴）					13	四診から弁証論治まで②				
6	論治③（治療穴の決定：穴性）					14	問題演習（四診）				
7	症例における弁証論治の流れ					15	治療法、診断法のまとめ				
8	問題演習（弁証論治）										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	東洋医学臨床論Ⅰ（前期）			担当教員名	嶋 正明				
実務経験等	鍼灸マッサージ治療院を先代より引き継ぎ32年勤務する。また、国立障害者リハビリテーションにて非常勤職員として27年勤務。（はり師きゅう師あん摩マッサージ指圧師）長年の臨床経験より得られた臨床技術を東洋医学的見地よりわかりやすく伝える授業を行う。										
年次	2学年	開講期	前期	種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	東洋医学臨床論の教科書をもとに、各疾患の症状、病態生理を理解する。										
到達目標	現代医学的な考え方で治療方針が立てられるようにする。										
使用教材	「東洋学医学臨床論（はりきゅう編）」南江堂東洋療法学校協会編 教科書検討小委員会著						評価方法		筆記試験		
授業内容											
1	鍼灸臨床				9	下肢痛、膝痛					
2	治療穴とその応用				10	胸痛、腹痛					
3	手技と手法				11	眼精疲労、気分障害、めまい					
4	疼痛				12	動悸・息切れ、血圧異常、睡眠障害					
5	頭痛、顔面痛				13	食欲不振、肥満、やせ					
6	関節痛、頸肩腕痛				14	悪心嘔吐、便秘、下痢、歯痛					
7	上肢痛、肩関節痛				15	前期まとめ					
8	腰下肢痛、腰痛										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	東洋医学臨床論Ⅰ（後期）			担当教員名	嶋 正明				
実務経験等	鍼灸マッサージ治療院を先代より引き継ぎ32年勤務する。また、国立障害者リハビリテーションにて非常勤職員として27年勤務。（はり師きゅう師あん摩マッサージ指圧師）長年の臨床経験より得られた臨床技術を東洋医学的見地よりわかりやすく伝える授業を行う。										
年次	2学年	開講期	後期	種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	東洋医学臨床論の教科書をもとに、各疾患の症状、病態生理を理解する。										
到達目標	現代医学的な考え方で治療方針が立てられるようにする。										
使用教材	「東洋学医学臨床論（はりきゅう編）」南江堂東洋療法学校協会編 教科書検討小委員会著						評価方法		筆記試験		
授業内容											
16	咳嗽と喀痰、呼吸困難、鼻閉・鼻汁					24	性器出血、帯下				
17	脱毛、耳鳴・難聴、排尿障害、ED					25	不妊症、つわり				
18	疲労と倦怠感、発熱					26	骨盤位、乳汁分泌異常				
19	冷え、のぼせ					27	小児特有の症候、疳の虫				
20	浮腫、掻痒感、肌荒れ、発疹					28	夜尿症、小児喘息				
21	顔面麻痺、歩行異常					29	老年特有の症候、認知症				
22	口渇、出血傾向					30	後期まとめ				
23	女性特有の症候、月経異常										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	東洋医学臨床論Ⅱ（前期）			担当教員名	嶋 正明				
実務経験等	鍼灸マッサージ治療院を先代より引き継ぎ32年勤務する。また、国立障害者リハビリテーションにて非常勤職員として27年勤務。（はり師きゅう師あん摩マッサージ指圧師）長年の臨床経験より得られた臨床技術を東洋医学的見地よりわかりやすく伝える授業を行う。										
年次	2学年	開講期	前期	種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	東洋医学臨床論の教科書をもとに、各疾患の症状、病態生理を理解する。										
到達目標	東洋医学臨床論の教科書をもとに、各疾患の症状、病態生理を理解した上で、東洋医学的な考え方での治療方針が立てられるようにする。										
使用教材	「東洋学医学臨床論（はりきゅう編）」南江堂東洋療法学校協会編 教科書検討小委員会著						評価方法		筆記試験		
授業内容											
1	鍼灸臨床					9	下肢痛、膝痛				
2	治療穴とその応用					10	胸痛、腹痛				
3	手技と手法					11	肝系統（眼精疲労、気分障害、めまい）				
4	疼痛					12	心系統（動悸・息切れ、血圧異常、睡眠障害）				
5	頭痛、顔面痛					13	脾系統（食欲不振、肥満、やせ）				
6	痺証、関節痛、頸肩腕痛					14	脾系統（悪心嘔吐、便秘、下痢、歯痛）				
7	上肢痛、肩関節痛					15	前期まとめ				
8	腰下肢痛、腰痛										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	東洋医学臨床論Ⅱ（後期）				担当教員名	嶋 正明			
実務経験等	鍼灸マッサージ治療院を先代より引き継ぎ32年勤務する。また、国立障害者リハビリテーションにて非常勤職員として27年勤務。（はり師きゅう師あん摩マッサージ指圧師）長年の臨床経験より得られた臨床技術を東洋医学的見地よりわかりやすく伝える授業を行う。										
年次	2学年	開講期	後期	種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	東洋医学臨床論の教科書をもとに、各疾患の症状、病態生理を理解する。										
到達目標	東洋医学臨床論の教科書をもとに、各疾患の症状、病態生理を理解した上で、東洋医学的な考え方での治療方針が立てられるようにする。										
使用教材	「東洋学医学臨床論（はりきゅう編）」南江堂東洋療法学校協会編 教科書検討小委員会著						評価方法	筆記試験			
授業内容											
16	肺系統（咳嗽と喀痰、呼吸困難、鼻閉・鼻汁）					24	性器出血、帯下				
17	腎系統（脱毛、耳鳴・難聴、排尿障害、ED）					25	不妊症、つわり				
18	疲労と倦怠感、発熱					26	骨盤位、乳汁分泌異常				
19	冷え、のぼせ					27	小児特有の症候、疳の虫				
20	浮腫、掻痒感、肌荒れ、発疹					28	夜尿症、小児喘息				
21	顔面麻痺、歩行異常					29	老年特有の症候、認知症				
22	口渇、出血傾向					30	後期まとめ				
23	女性特有の症候、月経異常										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	臨床医学総論（前期）			担当教員名	川口 禎子				
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鍼灸治療院で鍼灸マッサージ師として25年以上勤務中(はり師きゅう師あん摩マッサージ指圧師)</li> <li>・個人での出張治療も行っている。鍼灸・マッサージ師として長年治療院で勤務をしている経験から、臨床に必要な疾患の知識と判断能力について授業を行う。</li> </ul>										
年次	2学年	開講期	前期	種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	臨床医学総論の教科書における診察学を理解する。										
到達目標	臨床医学総論の教科書における診察学の理解を含め、又検査法の意義と種類・理学的検査について学び、臨床に応用するための知識を養う。										
使用教材	「臨床医学総論」 医歯薬出版 4500円＋税						評価方法		筆記試験		
授業内容											
1	第一章診察の概要～第二章診察の方法、1 医療面接					9	第五章局所の診察 1 頭、2 顔、3 眼				
2	2 視診～7 神経系の診察					10	4 鼻、5 耳、6 口腔				
3	第三章生命徴候 1 体温、2 脈拍					11	7 頸部、8 胸部				
4	3 血圧、4 呼吸					12	9 乳房、10 肺、胸膜				
5	第四章全身の診察 1 顔貌、2 精神状態、3 言語					13	11 心臓、12 腹部				
6	4 身体計測、5 体型、6 栄養状態					14	13 背部、14 四肢				
7	7 姿勢、8 歩行、9 皮膚					15	前期まとめ				
8	10 爪、11 リンパ節、12 その他										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	臨床医学総論（後期）	担当教員名	川口 禎子						
実務経験等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鍼灸治療院で鍼灸マッサージ師として25年以上勤務中(はり師きゅう師あん摩マッサージ指圧師)</li> <li>・個人での出張治療も行っている。鍼灸・マッサージ師として長年治療院で勤務をしている経験から、臨床に必要な疾患の知識と判断能力について授業を行う。</li> </ul>										
年次	2学年	開講期	後期	種別	講義	時間数	30時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	臨床医学総論の教科書における診察学を理解する。										
到達目標	臨床医学総論の教科書における診察学の理解を含め、又検査法の意義と種類・理学的検査について学び、臨床に応用するための知識を養う。										
使用教材	「臨床医学総論」 医歯薬出版 4500円＋税						評価方法		筆記試験		
授業内容											
16	第六章神経系の診察 1 感覚検査法					24	第九章臨床検査法 1 一般検査、2 尿、便				
17	2 反射検査					25	血液検査				
18	3 脳神経系の検査					26	2 血液生化学検査				
19	4 髄膜、5 その他の検査					27	3 画像診断				
20	第七章運動機能検査 1 運動麻痺、2 筋肉異常					28	第十一章治療学 1 概要、2 薬物、3 食事				
21	3 不随意運動、4 協調運動					29	4 理学療法、5 その他の療法				
22	5 起立と歩行					30	第十二章臨床心理 後期まとめ				
23	第八章その他の診察										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	徒手検査法			担当教員名	庄田 元				
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師 治療院勤務・治療院開業 2002年4月～現在に至る 鍼灸マッサージ教員 2004年4月より現在に至る										
年次	2学年	開講期	前期	種別	演習	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	関節可動域検査、徒手筋力検査、徒手による整形外科的検査法の意義を理解し、正確に行うことができる能力を育てる。										
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関節可動域検査の意義を理解し、正確な方法を用いて、全身の関節の検査を行うことができる。</li> <li>・ 徒手筋力検査の意義を理解し、正確な方法を用いて、全身の主要な筋肉の検査を行うことができる。</li> <li>・ 徒手による整形外科的検査法の意義を理解し、正確な方法を用いて、検査を行うことができる。</li> <li>・ 様々な徒手検査法を用いて、疾患の鑑別能力および病態を把握する能力を身に付ける。</li> </ul>										
使用教材	病気がみえるVol.11 運動器・整形外科 第2版 整形外科的テスト ポケット手帳						評価方法	実技試験（口頭試問含む）			
授業内容											
1	関節可動域テスト・徒手筋力テスト 頸・頭部				9	整形外科的テスト					
2	関節可動域テスト・徒手筋力テスト 体幹				10	整形外科的テスト					
3	関節可動域テスト・徒手筋力テスト 肩甲骨				11	整形外科的テスト					
4	関節可動域テスト・徒手筋力テスト 肩				12	整形外科的テスト					
5	関節可動域テスト・徒手筋力テスト 肘・手				13	整形外科的テスト					
6	関節可動域テスト・徒手筋力テスト 股関節				14	整形外科的テスト					
7	関節可動域テスト・徒手筋力テスト 膝・足				15	整形外科的テストまとめ					
8	関節可動域テスト・徒手筋力テスト 試験										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	身体診察実技			担当教員名	星 いつ子				
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師として整形外科クリニック・内科クリニック・漢方薬局・往診治療の経験をもとに当該科目の教育を行う。										
年次	2学年	開講期	後期	種別	演習	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	前期で学習した「徒手検査法」「臨床医学各論Ⅰ（整形外科系）」「東洋医学臨床論」などで得た知識・技能を総合して、症例に対し必要な検査法を駆使し、病態把握・鑑別に至るまでの流れを、動きながら理解する。 3年時に行う臨床実習の足掛かりにする。										
到達目標	症例に対して必要な検査法を取捨選択できる 必要な検査法を行うことができる										
使用教材	東洋医学臨床論、病気が見える⑪、整形外科テスト ポケット手帳						評価方法	小テスト、実技試験			
授業内容											
1	頸部の疾患①					9	仙腸関節、股関節、周囲の疾患				
2	頸部の疾患②					10	膝関節の疾患①				
3	胸郭出口症候群					11	膝関節の疾患②、足関節周囲の疾患				
4	肩関節疾患					12	下半身の復習				
5	上腕の末梢神経障害					13	症例検討、鑑別①				
6	上半身の復習					14	症例検討、鑑別				
7	腰部の疾患①					15	総復習				
8	腰部の疾患②										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	臨床実習前教育			担当教員名	星 いつ子				
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師として整形外科クリニック・内科クリニック・漢方薬局・往診治療の経験をもとに当該科目の教育を行う。										
年次	2学年	開講期	前期	種別	演習	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	2年生から始まる臨床実習、3年生で行う外部実習に向け、身に着けるべき態度・知識を学習する。										
到達目標	医療人としての自覚を持つこと										
使用教材	東洋医学臨床論（はりきゅう編）南江堂						評価方法	出席、授業態度、提出物			
授業内容											
1	外部実習について					9	コミュニケーション能力について④				
2	外部実習について					10	医療面接①				
3	カルテの書き方①					11	医療面接②				
4	カルテの書き方②					12	医療面接③				
5	カルテの書き方③					13	医療面接④				
6	コミュニケーション能力について①					14	医療面接⑤				
7	コミュニケーション能力について②					15	医療面接⑥				
8	コミュニケーション能力について③										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	社会あはき学Ⅰ				担当教員名	遠藤 水晶			
実務経験等	鍼灸マッサージ師として、鍼灸マッサージ治療院で院内治療や訪問治療を行っている。										
年次	2学年	開講期	後期	種別	演習	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	グループ学習・探究活動										
到達目標	グループまたは個人ではあはきの臨床や社会的な要請についての問題点をテーマとし、調査や研究を行い発表する。この活動を通して社会のニーズに適応できるあはき師となるために必要な自己学習能力、解決能力を身に付ける。										
使用教材							評価方法	出席・課題			
授業内容											
1	ガイダンス					9	グループ学習・探究活動				
2	グループ学習・探究活動のテーマ選定・活動計画立案					10	グループ学習・探究活動				
3	活動計画発表・討論					11	グループ学習・探究活動				
4	グループ学習・探究活動					12	グループ学習・探究活動				
5	グループ学習・探究活動					13	グループ学習・探究活動				
6	グループ学習・探究活動					14	中間発表				
7	グループ学習・探究活動					15	中間発表				
8	グループ学習・探究活動										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	臨床はりきゅう実技Ⅰ(前期)				担当教員名	星 いつ子			
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師として整形外科クリニック・内科クリニック・漢方薬局・往診治療の経験をもとに当該科目の教育を行う。										
年次	2学年	開講期	前期	種別	実技	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	東洋医学臨床論Ⅰで学んだことをもとに、実際の臨床でその実技を行う。										
到達目標	東洋医学臨床論Ⅰで学んだことをもとに、実際の臨床でその実技を行い、適切なはりきゅう施術ができるようになる。										
使用教材	「東洋医学臨床論」 南江堂						評価方法	実技試験			
授業内容											
1	下肢反射、FFD計測、腰部治療					9	上腕骨外側上顆炎に対する鍼灸治療、ド・ケルバン病、ガングリオン				
2	腰痛治療（側臥位）、椎間関節刺鍼					10	胸郭出口症候群検査法、前斜角筋刺鍼				
3	腰方形筋刺鍼、坐骨神経痛の通電治療					11	整形外科系復習・まとめ				
4	膝の視診・触診、膝周囲の骨にスケッチ					12	頭痛				
5	脛骨粗面に刺鍼、タナ触診、腸脛靭帯					13	歯科領域の鍼麻酔				
6	肩こり					14	顔面に対する治療				
7	頸椎症の通電治療、頸部痛の治療					15	まとめ				
8	肩甲上腕リズム結節間溝、棘上筋刺鍼、肩関節インナーマッスルトレーニング										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	臨床はりきゅう実技Ⅰ(後期)	担当教員名	星 いつ子						
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師として整形外科クリニック・内科クリニック・漢方薬局・往診治療の経験をもとに当該科目の教育を行う。										
年次	2学年	開講期	後期	種別	実技	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	東洋医学臨床論Ⅰで学んだことをもとに、実際の臨床でその実技を行う。										
到達目標	東洋医学臨床論Ⅰで学んだことをもとに、実際の臨床でその実技を行い、適切なはりきゅう施術ができるようになる。										
使用教材	「東洋学医学臨床論（はりきゅう編）」南江堂東洋療法学校協会編 教科書検討小委員会著						評価方法		実技試験		
授業内容											
1	胸痛					9	かゆみ				
2	腹痛					10	婦人科				
3	睡眠障害、気分障害					11	婦人科				
4	めまい、耳鳴り、難聴					12	発熱、のぼせ、冷え				
5	悪心、嘔吐					13	歩行異常、高齢者に特有の症状				
6	咳嗽、呼吸困難、鼻閉、鼻汁					14	眼精疲労、疲労倦怠、小児に特有の症状				
7	脱毛、排尿障害、ED					15	まとめ				
8	浮腫										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	臨床はりきゅう実技Ⅱ（前期）				担当教員名	嶋 正明			
実務経験等	鍼灸マッサージ治療院を先代より引き継ぎ32年勤務する。また、国立障害者リハビリテーションにて非常勤職員として27年勤務。（はり師きゅう師あん摩マッサージ指圧師）長年の臨床経験より得られた臨床技術を東洋医学的見地よりわかりやすく伝える授業を行う。										
年次	2学年	開講期	前期	種別	実技	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	東洋医学臨床論Ⅱで学んだことをもとに、実際の臨床でその実技を行う。										
到達目標	東洋医学臨床論Ⅱで学んだことをもとに、実際の臨床でその実技を行い、適切はりきゅう施術ができるようになる。										
使用教材							評価方法	実技			
授業内容											
1	基本手技と手法					9	弁証論治演習 1（愈募原配穴）				
2	脈診と舌診					10	弁証論治演習 2（愈募原配穴）				
3	腹診と背候診					11	弁証論治演習 3（愈募原配穴）				
4	背愈穴の切経と治療					12	弁証論治演習 4（愈募原配穴）				
5	募穴の切経と治療					13	弁証論治演習 5（愈募原配穴）				
6	原穴の切経と治療					14	弁証論治演習 6（愈募原配穴）				
7	四診合参法					15	弁証論治演習 7（愈募原配穴）				
8	弁証論治入門										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	臨床はりきゅう実技Ⅱ（後期）				担当教員名	嶋 正明			
実務経験等	鍼灸マッサージ治療院を先代より引き継ぎ32年勤務する。また、国立障害者リハビリテーションにて非常勤職員として27年勤務。（はり師きゅう師あん摩マッサージ指圧師）長年の臨床経験より得られた臨床技術を東洋医学的見地よりわかりやすく伝える授業を行う。										
年次	2学年	開講期	後期	種別	実技	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	東洋医学臨床論Ⅱで学んだことをもとに、実際の臨床でその実技を行う。										
到達目標	東洋医学臨床論Ⅱで学んだことをもとに、実際の臨床でその実技を行い、適切はりきゅう施術ができるようになる。										
使用教材							評価方法	実技			
授業内容											
16	補寫法（補法の実際）					24	標本同治（症例検討2）				
17	補寫法（瀉法の実際）					25	標本同治（症例検討3）				
18	標治法（肩こり）					26	標本同治（症例検討4）				
19	標治法（頸肩腕痛）					27	弁証論治応用演習1（臓腑複合弁証）				
20	標治法（肩関節痛）					28	弁証論治応用演習2（臓腑複合弁証）				
21	標治法（腰下肢痛）					29	弁証論治応用演習3（臓腑複合弁証）				
22	標治法（膝関節痛）					30	弁証論治応用演習4（臓腑複合弁証）				
23	標本同治（症例検討1）										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	経絡経穴実技 (前期)			担当教員名	遠藤 水晶				
実務経験等	鍼灸マッサージ師として、鍼灸マッサージ治療院で院内治療や訪問治療を行っている。										
年次	2学年	開講期	前期	種別	実技	時間数	30時間	単位数		区分	必修
授業概要	1年次に学んだ経絡経穴概論の経穴に鍼灸を行う。										
到達目標	要穴の取穴ができる。 要穴に刺鍼ができる。 要穴の筋・神経が分かる。										
使用教材	「新版 経絡経穴概論」医道の日本社					評価方法	実技試験 (口頭試問含む)				
授業内容											
1	イントロダクション				9	五要穴 (足の陰経)					
2	五行穴 (手の陰経)				10	五要穴 (足の陽経)					
3	五行穴 (手の陽経)				11	五要穴 復習					
4	五行穴 (足の陰経)				12	八会穴・八総穴・下合穴・奇経郄穴					
5	五行穴 (足の陽経)				13	八会穴・八総穴・下合穴・奇経郄穴 復習					
6	五行穴 復習				14	総復習①					
7	五要穴 (手の陰経)				15	総復習②					
8	五要穴 (手の陽経)										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	経絡経穴実技 (後期)			担当教員名	遠藤 水晶				
実務経験等	鍼灸マッサージ師として、鍼灸マッサージ治療院で院内治療や訪問治療を行っている。										
年次	2学年	開講期	後期	種別	実技	時間数	30時間	単位数		区分	必修
授業概要	1年次に学んだ経絡経穴概論の経穴に鍼灸を行う。										
到達目標	出題・使用頻度の高い経穴の取穴ができる。 出題・使用頻度の高い経穴に刺鍼ができる。 出題・使用頻度の高い経穴の筋・神経が分かる。										
使用教材	「新版 経絡経穴概論」医道の日本社					評価方法	実技試験 (口頭試問含む)				
授業内容											
1	前期振り返り				9	出題頻度の高い経穴⑧					
2	出題頻度の高い経穴①				10	出題頻度の高い経穴⑨					
3	出題頻度の高い経穴②				11	使用頻度の高い経穴①					
4	出題頻度の経穴③				12	使用頻度の高い経穴②					
5	出題頻度の高い経穴④				13	使用頻度の高い経穴③					
6	出題頻度の高い経穴⑤				14	総復習①					
7	出題頻度の高い経穴⑥				15	総復習②					
8	出題頻度の高い経穴⑦										
特記事項	口頭試問には前期内容も含む										

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	部位別あん摩実技（前期）	担当教員名	君嶋 真理子						
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師として40年以上の臨床経験がある。豊富な知識と経験、技術を活かした授業を行う。										
年次	2学年	開講期	前期	種別	実技	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	側臥位による身体各部のあん摩施術を習得させる。										
到達目標	側臥位による身体各部のあん摩施術を習得させ、施術者としての心構えについて指導する。										
使用教材	「あんまマッサージ指圧実技〈基礎編〉」 医道の日本社						評価方法		実技試験		
授業内容											
1	1年生の復習					9	全身あん摩40分				
2	1年生の復習					10	全身あん摩40分				
3	側臥位 腰臀部・下肢					11	全身あん摩40分				
4	側臥位 腰臀部・下肢					12	仕上げ				
5	側臥位 腰臀部・下肢					13	全身あん摩80分				
6	頭頸部					14	全身あん摩80分				
7	頭頸部					15	まとめ				
8	全身あん摩40分										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	部位別あん摩実技（後期）	担当教員名	君嶋 真理子						
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師として40年以上の臨床経験がある。豊富な知識と経験、技術を活かした授業を行う。										
年次	2学年	開講期	後期	種別	実技	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	側臥位による身体各部のあん摩施術を習得させる。										
到達目標	側臥位による身体各部のあん摩施術を習得させ、施術者としての心構えについて指導する。										
使用教材	「あんまマッサージ指圧実技〈基礎編〉」 医道の日本社						評価方法		実技試験		
授業内容											
16	全身施術					24	全身施術				
17	全身施術					25	全身施術				
18	全身施術					26	全身施術				
19	全身施術					27	全身施術				
20	全身施術					28	全身施術				
21	全身施術					29	全身施術				
22	全身施術					30	まとめ				
23	全身施術										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	部位別マッサージ実技	担当教員名	木村 桃子						
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師、鍼灸師として、株式会社麴町治療院で（帝国ホテル、ホテルオークラなど都内の一流ホテル派遣）にてアロマオイルマッサージをメインに施術。あん摩マッサージ指圧師、鍼灸師として八丁堀治療院にて臨床を行う。現在、自身のviaggiokamakuraにて臨床をおこなう。										
年次	2学年	開講期	前期	種別	実技	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	1年次に習得したマッサージの基礎的技術を踏まえて、全身施術を学ぶ。										
到達目標	1年次に習得したマッサージの基礎的技術を踏まえて、全身施術を学び、患者や部位の違いによる施術の違いを習得し実践できるようになる。										
使用教材							評価方法	実技試験			
授業内容											
1	前腕への施術（仰臥位）						背部への施術				
2	上肢への施術（仰臥位・伏臥位）					10	背部への施術				
3	下腿への施術（仰臥位）					11	吸角（置缶、走缶）				
4	下腿への施術（伏臥位）					12	フェイシャル				
5	大腿への施術（仰臥位）					13	試験対策練習				
6	大腿への施術（伏臥位）、臀部					14	試験対策練習				
7	背部への施術					15	総括				
8	背部への施術										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	部位別指圧実技（前期）				担当教員名	庄田 元			
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師 治療院勤務・治療院開業 2002年4月～現在に至る 鍼灸マッサージ教員 2004年4月より現在に至る										
年次	2学年	開講期	前期	種別	実技	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	1年次で学んだ基本法を応用し、各部位に適した施術法とその組立てを学ぶ。また、徒手検査法で学んだ検査や触診を行い、患者の病態をイメージする。										
到達目標	各部位に適した施術法とその組立てができるようになる。 検査から患者の病態を把握できるようになる。 指圧する部位の筋について説明ができるようになる。 患者の訴えにあわせた施術ができるようになる。										
使用教材	プリント配布あん摩マッサージ指圧実技〈基礎編〉						評価方法	実技試験（口頭試問含む）			
授業内容											
1	全身操作の手順 側臥位 片側7分					9	全身操作70分-B①				
2	全身操作の手順 側臥位 片側7分					10	全身操作70分-A②				
3	全身操作の手順 伏臥位・上半分 片側5分					11	全身操作70分-B②				
4	全身操作の手順 伏臥位・下半分 片側5分					12	各部位の手順・口頭試問の練習・下腿外側の強圧				
5	全身操作の手順 仰臥位・下肢 片側5分					13	各部位の手順・口頭試問の練習・下腿外側の強圧				
6	全身操作の手順 仰臥位・上肢 片側5分					14	各部位の手順・口頭試問の練習・下腿外側の強圧				
7	全身操作の手順 仰臥位・頭部顔面胸部腹部5分					15	全身操作の手順 試験				
8	全身操作70分-A①										
特記事項											

2025年度 授業要綱

湘南医療福祉専門学校

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	部位別指圧実技（後期）				担当教員名	庄田 元			
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師 治療院勤務・治療院開業 2002年4月～現在に至る 鍼灸マッサージ教員 2004年4月より現在に至る										
年次	2学年	開講期	後期	種別	実技	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	1年次で学んだ基本法を応用し、各部位に適した施術法とその組立てを学ぶ。また、徒手検査法で学んだ検査や触診を行い、患者の病態をイメージする。										
到達目標	各部位に適した施術法とその組立てができるようになる。 検査から患者の病態を把握できるようになる。 指圧する部位の筋について説明ができるようになる。 患者の訴えにあわせた施術ができるようになる。										
使用教材	プリント配布あん摩マッサージ指圧実技〈基礎編〉					評価方法	実技試験（口頭試問含む）				
授業内容											
16	検査から問題のある筋を探る 頸・肩甲骨				24	検査から病態を把握 部位別施術70分－B②					
17	検査から問題のある筋を探る 肩				25	検査から病態を把握 部位別施術70分－A③					
18	検査から問題のある筋を探る 肘・手				26	検査から病態を把握 部位別施術70分－B③					
19	検査から問題のある筋を探る 腰・股関節				27	検査から問題のある筋を探る・口頭試問と指圧法、側臥位での肩甲間部の強圧					
20	検査から問題のある筋を探る 膝・足				28	検査から問題のある筋を探る・口頭試問と指圧法、側臥位での肩甲間部の強圧					
21	検査から病態を把握 部位別施術70分－A①				29	検査から問題のある筋を探る・口頭試問と指圧法、側臥位での肩甲間部の強圧					
22	検査から病態を把握 部位別施術70分－B①				30	検査から問題のある筋を探る・口頭試問と指圧法、側臥位での肩甲間部の強圧					
23	検査から病態を把握 部位別施術70分－A②										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	総合臨床実技			担当教員名	遠藤 水晶				
実務経験等	鍼灸マッサージ師として、鍼灸マッサージ治療院で院内治療や訪問治療を行っている。										
年次	2学年	開講期	通年	種別	実技	時間数	60時間	単位数	2単位	区分	必修
授業概要	2年次以降の臨床実習に向けて、臨床に必要なランドマークの確認、取穴、あんま・マッサージ・指圧、はり灸の基本的技術を学生同士で自律的に学習する。										
到達目標	臨床に必要なランドマークの確認、取穴、あんま・マッサージ・指圧、はり灸の基本的技術を修得する。										
使用教材							評価方法	出席・課題			
授業内容											
1	オリエンテーション					16	1年生と合同臨床実技				
2	開港祭打ち合わせ					17	1年生と合同臨床実技				
3	3年生と開港祭練習					18	1年生と合同臨床実技				
4	3年生と開港祭練習					19	1年生と合同臨床実技				
5	3年生の患者役					20	1年生と合同臨床実技				
6	3年生の患者役					21	1年生と合同臨床実技				
7	3年生の患者役					22	1年生と合同臨床実技				
8	3年生の患者役					23	1年生と合同臨床実技				
9	3年生の患者役					24	1年生と合同臨床実技				
10	1年生と合同臨床実技①					25	1年生と合同臨床実技				
11	総合臨床実技					26	1年生と合同臨床実技				
12	1年生と合同臨床実技②					27	1年生に施術				
13	総合臨床実技					28	1年生に施術				
14	総合臨床実技					29	1年生に施術				
15	1年生と合同臨床実技③					30	1年生に施術				
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	臨床実習-1				担当教員名	星 いつ子			
実務経験等	あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師として鍼灸整骨院・本学附属臨床施設でのあはき治療の経験をもとに、当該科目の教育を行う。										
年次	2学年	開講期	後期	種別	外部実習	時間数	45時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	施術所における臨床の現場を見学し、できる範囲で患者への接遇や施術者のサポートを行うことで、臨床を体験する。後期には、見学・サポートのみならず、各自で病態把握をし、治療の組み立てをし、実際に治療する。										
到達目標	実際に見学したり、体験したりすることを通して、臨床にあたっての自らの課題を見つけ、克服する努力をする。 自分なりに、病態把握・鑑別・治療の組み立てを行い、3年生へ向けての課題を見つける。										
使用教材							評価方法	出席・課題			
授業内容											
1	合同オリエンテーション					16	はりきゅう臨床実習8				
2	はりきゅう臨床実習1					17	はりきゅう臨床実習9				
3	はりきゅう臨床実習2					18	はりきゅう臨床実習10				
4	はりきゅう臨床実習3					19	はりきゅう臨床実習11				
5	はりきゅう臨床実習4					20	はりきゅう臨床実習12				
6	はりきゅう臨床実習5					21	はりきゅう臨床実習13				
7	徒手臨床実習1					22	はりきゅう臨床実習14				
8	徒手臨床実習2					23	はりきゅう臨床実習15				
9	徒手臨床実習3										
10	徒手臨床実習4										
11	徒手臨床実習5										
12	徒手臨床実習6										
13	徒手臨床実習7										
14	はりきゅう臨床実習6										
15	はりきゅう臨床実習7										
特記事項											

学科名	東洋療法科昼間課程	科目名	スポーツトレーナー実習Ⅰ	担当教員名	野尻 友美						
実務経験等	日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー・保健体育科教員免許を持ち、長年複数学校でトレーナー養成の講義を行う。										
年次	2学年	開講期	前期	種別	演習	時間数	30時間	単位数	1単位	区分	必修
授業概要	スポーツトレーナーとして必要な知識・技術の基礎に基づき、状況に合わせたプログラムを実践する。										
到達目標	トレーニング科学や解剖学・運動生理学、スポーツ傷害を踏まえたトレーニングプログラムを考える事が出来る。										
使用教材	テキストなし。プリント配布もありますが、ノートを用意してください。						評価方法	出席・課題、筆記試験			
授業内容											
1	ガイダンス(座学)					9	ストレッチング				
2	トレーニング基礎知識の確認(座学)					10	アジリティトレーニング1				
3	マシンウエイトトレーニング					11	アジリティトレーニング2,クイックネストレーニング				
4	フリーウエイトトレーニング1					12	プライオメトリクストレーニング				
5	フリーウエイトトレーニング2					13	バランスボール				
6	ストレッチポール					14	インターバルトレーニング				
7	スタビリティトレーニング					15	リコンディショニングの段階的プログラム・復習(座学)				
8	コーディネーショントレーニング										
特記事項	トレーニングルームを利用する為室内運動シューズを持参してください。										